

2 研究の実際

実践① 教師全員の意見を基にした研究推進を目指した授業研究会〔A小学校における実践〕

A小学校は、前年度まで校内研究計画に則り実践を重ねてきましたが、今年度は、研究内容に新たな内容が加わったので、研究内容の共通理解を図った上で指導法改善に取り組むことにしました。そこで、第1回授業研究会での協議内容を基に教師全員で授業の視点を設定したり、教師全員に採ったアンケートを参考に授業研究会の進め方を改善したりしました。このように教師全員の意見を校内研究の内容に反映させることにより、全員が主体的に取り組み、さらに校内研究が充実することを目指しました。

校内研究の年間計画

月	PDCAの段階	各段階の取組
4月		<p>○研究主題と内容及び年間計画の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研究の主題を確認するとともに、内容について共通理解を図る。 ・校内研究会を19回予定し、そのうちの7回は研究授業及び授業研究会を実施する。また、講師招聘を2回行う。
5月 ↓ 11月	<p>p 教材研究 指導案等作成</p> <p>d 研究授業 事例研究</p> <p>c 研究会</p>	<p>○研究授業及び授業研究会に向けた取組(p)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議の場におけるワークショップ型の選定を行い、授業研究会の進め方について説明資料を準備する。 <p>○研究授業(d)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回研究授業において、本年度の授業の視点を定めるための研究主任による提案授業を実施する。 ・2回目以降は、授業の視点に基づいた研究授業を実施する。 <p>○授業研究会(c)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の視点に基づいた協議を、ワークショップ型で行う。 ・教師の意見を基に、協議方法などの改善を図るための事後アンケートを行う。 <p>○日々の教育実践(a)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議した内容を基に、5W1Hを用いた実践計画に沿った実践を行う。 <p style="text-align: right; border: 1px solid red; padding: 2px;">※p d c aを繰り返す。</p>
12月 ↓ 2月		<p>○今年度の校内研究の取組の振り返りと改善点についての協議</p> <p>○まとめの作成</p>
3月		○次年度に向けた校内研究推進計画の作成

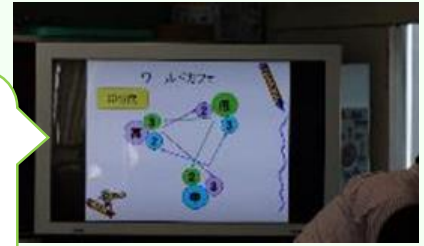
意識調査

校内研究に関する意識調査を、実践前の7月に第1回、実践後の10月に第2回として行いました。

第1回意識調査の中の質問項目I-1-③「日々の教育実践に校内研究の取組を生かしていますか」I-2-③「自分の思いや考えを自主的に述べていますか」ということについては、どちらの質問項目も8.3%の教師が「どちらかといえばそう思わない」あるいは「そう思わない」と回答していることを課題であると捉えました。

・説明資料を用いて、ワールドカフェの移動について確認した。

研究主任「授業研究会のまとめの時間を確保するため、グループ協議の時間やシェアする時間を厳守してください。」



ワールドカフェの移動についての説明資料

ラウンド① (20分) ※ワールドカフェにおいては、1回のグループ協議を「ラウンド」と呼びます。

- ・低学年担当(6人)、中学年担当(6人)、高学年担当(6人)の3グループに分かれ、各グループに拡大指導案を準備した。
- ・拡大指導案を用いて、授業の視点に沿った手立ての成果と課題を確認した。
- ・確認した成果と課題を基に改善を図った。



少人数だと疑問に思っていることが言いやすくなります。

ラウンド①の様子

ラウンド② (10分)

- ・各グループともホストの2人を残し、あとの4人は2人組で他の2つのグループに移動した。
- ・6人そろったら、ホストは、自分たちのグループで話し合ったことを説明した。
- ・拡大指導案を基に、ラウンド①で話題になったことに基づいた意見を述べ、グループで協議を進めていった。



ワールドカフェを用いると、グループのメンバーが変わるので、自分のグループでは出なかった意見が聞けます。

ラウンド②の様子

ラウンド③ (10分)

- ・ホストの2人は移動せず、あとの4人は他のグループに移動し、ラウンド②で話題になったことを基に意見を述べ、グループ協議を進めていった。

参観授業の教室をそのまま授業研究会に使ったので、掲示された資料を見ながら話し合いができます。



ラウンド③の様子

最終ラウンド (10分)

- ・最初のグループに戻り、移動したグループで出た意見を共有し、協議を深めた。
- ・グループ別に出された意見を発表した。

- ・前回の授業研究会で作成した5W1Hを用いた実践計画を、各自で見直し修正した。

研究主任「今日の協議で確認したことを基に、前回立てた実践計画を、各自で見直してください。」



実践計画の見直し

研究会で得たこと	・話し合いの進め方をマニュアル化した「〇〇タイム」を取り入れたら、無理なくグループの話し合いが進められる。 話し合い活動を充実させるために iPad の活用をする。
Who?	・各グループに 児童一人一人に
What?	・「〇〇タイム」を 話し合いの際の資料として
When?	・個人で考えた後のグループ活動で 各授業の内容に応じて
Where?	・生活科・総合的な学習の時間や 国語の授業において グループでの話し合い活動のとき
Why?	・話し合いのやり方を習得充実させるために
How?	・児童に役割分担をさせ、話し合いの進め方のマニュアルを使いながら集団思考させる。 iPad を見せながら自分の考えを説明したり、友達の考えを受け止めたりする資料として活用する。

5W1Hを用いた実践計画を説明する際のモデル
(前回の研究会で記入したものに赤字で修正をしている)

実践計画		氏名
研究会で得たこと	活動がマニュアル化したことには 具体的なやり方、話し合いの進め方の指示が大切。 iPad をツールとして活用することで話し合いがスムーズになる。	
Who?	児童一人一人に 役割分担	
What?	話し合いの 進め方を、今年度の授業の中で1回分 実践する。	
When?	話し合いの段階で コミュニケーションの段階で 話し合い	
Where?	外国語活動の時間 + 授業	
Why?	みんなの関与を促すための。 具体的に相手に伝えたい。	さあ、どう しよう
How?	X-2を見せ、何を目標とするかを具体的に説明し、 話し合いの かたまりとして話し合いの導入を スムーズにする	

前回の研究会で立てた実践計画に今回修正を加えたもの

8 事後アンケート

5

・授業研究会の進め方についてのアンケートを教師全員に行い、その結果やアンケートに記された意見を基に改善を図った。

研究主任「ワークショップ型を用いて意見を出し合う協議についての感想を書いてください。」



事後アンケートの記入

10月6日(水)校内研究会 アンケート

*本日の研究会の振り返りをお願いします。 () 学年部

1. 研究授業の時の観察・記録は、いかがでしたか。
 やりやすかった。
 やりにくかった。
 どちらともいえない。

2. 研究会での進め方についてのご意見をお聞かせください。
 ①ワールドカフェでの各学年グループの内容の深め方について
 やりやすかった。
 やりにくかった。
 どちらともいえない。

②「話し合い活動の型」検討について
 充実していた。
 あまり意味はなかった。
 どちらともいえない。

3. 実践計画の実施状況は、いかがでしたか。
 やりやすかった。
 やりにくかった。
 どちらともいえない。

4. 明日の授業から生かすことができる研究会でしたか。
 そう思う。
 そうは思えない。
 どちらともいえない。

5. 授業者への感想をお願いします。

ご協力ありがとうございました。

事後アンケート用紙

9 閉会

事後の取組

授業研究会後に、教師全員が5W1Hを用いた実践計画の裏側に実践シートを貼り、次の研究会までの期間、実践計画に沿った実践を行い、記録しました。

実践したものについては、**OK**を記入しています。

実践記録…計画を実践したときは○をつけたり、必要に応じて次につなげるメモをどっぴりしてみませんか？

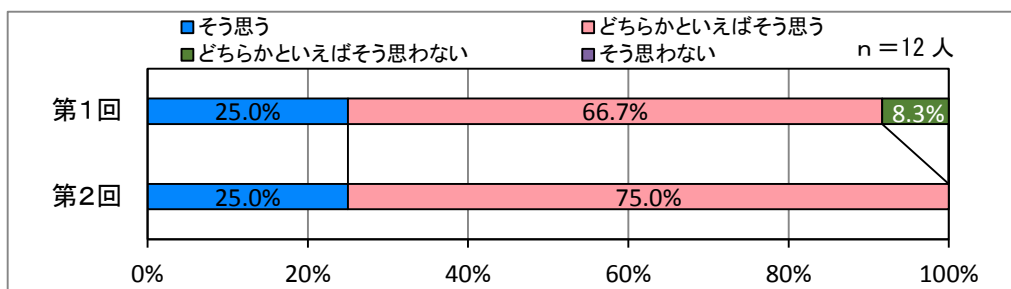
校時 9~10月	22 日 月 曜日	30 日 火 曜日	1 日 水 曜日	2 日 木 曜日	3 日 金 曜日
1					
2					
3			3年生 国工	6年生 外国語活動 iPad を使って コミュニケーション活動	
4		5年生 音楽 iPad を画像に 活用して	3年生 国工	4年生 国語の対話 自分の考えを 画像表現で伝える	
5	5年生 外国語活動 iPad を使って コミュニケーション活動	3年生 外国語活動 iPad を使って コミュニケーション活動	6年生 音楽 iPad を画像 を活用して	3年生 国語 「学級会」 「探検理由」の発表	5年生 音楽 iPad を画像 を活用して
6	6年生 外国語活動 iPad を使って コミュニケーション活動 教師の研修活用	2年生 英語活動 iPad を画像 を活用して		5年生 国語 「おとぎ話」の発表 「おとぎ話」の発表	

実践シートの例

実践を終えて

実践後の第2回意識調査の結果は、以下のようになりました。

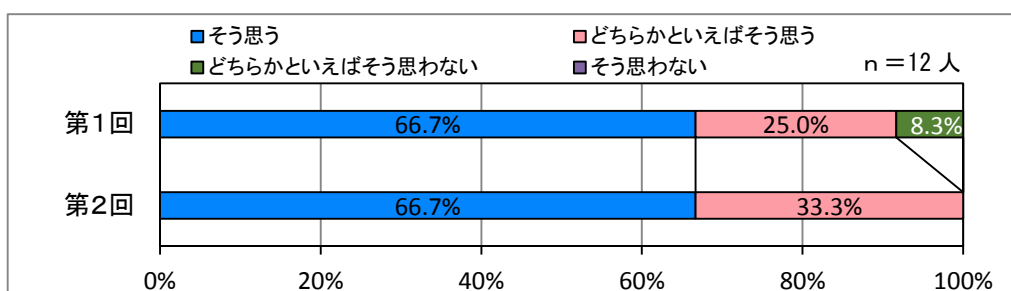
ア I-1-③「日々の教育実践に、校内研究の取組を生かしていますか」について



I-1-③「日々の教育実践に、校内研究の取組を生かしていますか」において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した教師の割合は、第1回 91.7%、第2回 100%となり、肯定的な回答が、8.3ポイント増加しました。日々の教育実践に生かした内容として具体的に記述されていた内容は、以下のとおりです。

- ・ 自分で目標などを立て、点検、振り返りをする。
- ・ 5W1Hの実践計画表を活用する。

イ I-2-③「自分の思いや考えを自主的に述べていますか」について



I-2-③「自分の思いや考えを自主的に述べていますか」において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した教師の割合は、第1回 91.7%、第2回 100%となり、肯定的な回答が、8.3ポイント増加しました。自分の思いや考えを自主的に述べることに関連して記述されていた内容は、以下のとおりです。

- ・ 話しやすい雰囲気だった。
- ・ 少人数で意見が言いやすく活発に論議できた。

以上の結果から、協議で出された内容を基に、教師が自分で目標を立て、点検、振り返りをするなどの具体的な手立てを取り、日々の教育実践に積極的に生かそうとしていることがうかがえます。また、ワークショップ型の研究会を実施したことにより、話しやすい雰囲気となり、自主的に自分の思いや意見を述べるにつながったと思われます。今後は、授業研究会で立てた実践計画を有効に活用するために、その実践を教師同士で伝え合うような場を設定することが大切であると考えます。